

**МИНИСТЕРСТВО ВЫСШЕГО И СРЕДНЕГО ОБРАЗОВАНИЯ
РЕСПУБЛИКИ УЗБЕКИСТАН
ТАШКЕНТСКИЙ ГОСУДАРСТВЕННЫЙ ИНСТИТУТ
ВОСТОКОВЕДЕНИЯ**

Реферат

Тема: Правильно использованию гайраго в японской речи

Махмудова Н.

ТАШКЕНТ – 2010

АННОТАЦИЯ

Реферат посвящен правильному использованию гайраго в японской речи. В реферате освещаются основные вопросы норм японского языка и устной речи. Особенности японского языка в изучении встречаются достаточно часто гайраго поэтому на эти языковые явления следует обратить особое внимание.

はじめに

最近日本語では様々な問題が起こっていて。特に問題になっているのは日本語とウズベク語の外来語の表記である。

どんな言語でも他の言語からの言葉を取り入れて、進歩していく。ある科学者の研究によると、日本語でもウズベク語でも年々外来語の語数が増えていくそう。日本語には西洋の外来語は和語の替わりに使われるよになる。それはほとんど英語からの借用語である。ウズベク語の外来語はロシア語、アラブ語、タジク語から来たただそうである。大勢の言語の学者はこういう変化に気をつけている今日では日本語言語学でも、ウズベク語言語学でもこれが当面の問題の一つだと思う。インターネットで調べた情報によると戦後に日本には、アメリカの影響が非常に大きくそう。もちろん明治以降日本は色々な面で欧米の影響をうけてきた。日本語の外来語の中には、カップ、ジュパン、ズボン、コップ、ガラスの用に長年使用され、日本語の中にやがて使用され、日本語の中に完全に定着したものあり、僅かな間だけで流行語のように使用され、やがて使用されなくなり、忘れられるものもある。筆者がこの学年論文の研究テーマとして取り上げた理由は最近外来語のせいで様々な困ることがなっているからである。この研究ではまず、ウズベク語でも日本語でも外来語の現状、そして外来語の表記と外来語の表記の新しい傾向を明らかにする。

本論

(1) 外来語の実態

最近日本語でもウズベク語でも様々な外来語がある。ウズベク語にも日本語にも外来語はどのように進んできたのか。そしてどのような状態にあるかをみてみよう。外来語はウズベク語でも日本語でもそんなに大事なのか。10年前は日本語でもウズベク語でも外来語はあまり多くなかった。しかし、今は日本人もウズベク人も外来語がよく使われている。外来語はみんなに便利なのか。日本語は古来語を取り入られている。古くは仏教を通じてサンスクリットが入っている。漢語も外来語である。正用語は室町時代以後ポルトガル語やオランダ語から入り、明治時代以後は英語・ドイツ語・フランス語などから多数の外来語が取り入れられた。ウズベク語の外来語は10世紀からアラブ語・タジク語から入り、20世紀のソ連時代からはロシア語から多数の外来語が取り入れられた。(注2)。近年日本語では外来語の実用単語は広まっている。そして範囲も著しく拡大している。現在日本語には外来語は5千、専門用語を入れると1万になる。日本のキリスト教でさえ、外来語があまりない。その一つは、クリスマスであるが、この意味は宗教というよりむしろ広

告用だ。実際に、日本はキリスト教徒がほとんどいない。でも、12月にはどんな日本人でもクリスマスの商業に出会う。

例えば、

1. クリスマスディナー
2. クリスマスカード
3. クリスマスパーティー
4. クリスマスツリー (Loveday 1996 : 88-89)

それは日常生活、あるいは、商業の言葉である。さらに、これの二つの部分が英語からだ。外来語は、たいてい、具体的な意味があるということだ。それで大部分の借用語が名詞だ。最後の 60 年の間に借用した言葉はほとんどアメリカ英語（米語）の出身で、消費範囲、現代のハイテクに関する用語である。外来語が特異なことである範囲では、外来語が拡張する傾向がある。日本語では、外来語は韓争するとき漢語と和語に勝つという例を知っている。例えば、

1. 今は “ミルク “ 前には ” 牛乳 “ (ぎゅうにゅう)
2. 今は “デパート” 前には “百貨店” (ひゃっかてん)

こういう対して変化はない。

ウズベク語でも外来語はだいたい同じである。アラビア語からとロシア語から取り入れた言葉。例えば、

1. 今は “Maktab” (学校) 前には ” Ta’lim maskani”
2. 今は “Магазин” (店) 前には “Do’kon”

外来語の表記は誰にも難しいのか。

日本

語を勉強している外国人にとって外来語はなかなか難しいそう
だ。

そこで、このブログでは外来語にアンダーラインを引いて、元のスペリングを表示するようにしている。

また、難しい単語には日本語か英語で定義をつけている。それはどうしてだろうか。

すべての漢字に振り仮名をつけたり、動詞に辞書形をつけたりするのでもいいかもしれないが、そこまで必要かどうかまだよくわからない。何かアイデアがあればコメントしてください。

この文章の内容も言うために外来語をもちろん使う。しかし、この文章を簡単な日本語で「なにか意見があればてくださ

い。」ということが出来ます。なぜこのような簡単な文章に外来語使っているのだろうか。（注3）。

(2) 外来語の表記

これまで外来語について大量の研究活動が行われてきたが、外来語の表記という問題はすべての日本語研究者や翻訳者などにとって未解決のままである。外来語表記の習慣とその規則を知ることはすべての日本語母語話者にとって重要なことである。なぜなら、それらは語の意味を理解するに役に立つからである。日本語では古来より外来語を片板名で表記する方法がとられているが表記法において正しい規則は確立されていない。例えば「ジランマ」、「フィクション」「エトランゼ」など。現代の和語や漢語にない音が用いられることもある。「外来語の表記」内閣告示第二号（1991）。

(3) 源吾音に近づく外来語の表記

現在外来語は以下片板名によって表記されている：例えば、

タ	チ	ツ	テ	ト	ギャ	ギユ	ギョ
ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ジャ	ジュ	ジョ
ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	ビヤ	ビユ	ビョ

マ ミ ム メ モ
ヤ ュ ヨ
ラ リ ル レ ロ

ピャ ピュ ピョ
シエ
チェ

ワ
ガ ギ グ ゲ ゴ
ザ ジ ズ ゼ ゾ
ダ デ ド
バ ビ ブ ベ ボ
パ ピ プ ペ ポ
キャ キュ キョ
チャ チュ チョ
ニャ ニュ ニョ
ヒャ ヒュ ヒョ
ミャ ミュ ミョ
リャ リュ リョ

ツァ ツェ ツォ
テイ
ファ フィ フェ フォ
ダイ
イエ
ウエ ウォ
クァ クェ クォ
トゥ
グァ
ドゥ
テュ
フュ
ビュ

外来語の大部分は英語起源の言葉である。英語起源以外の外来語の表記は以前は英語の発音にしたがって外来語の固有名詞を表す事に傾いたが現在はできるだけ厳正にその言葉の発音にしたがっている。例えば、НЕАПОЛЬ という言葉は最近 NAPLES から NE-PU-RU-SU (ネーブルス)であったが、現在は NAPOLI からナポリと表記される。ПРАГА という言葉は最近 PRAGUE からプラグであったが現在は PRAHA からプラハと表記される。

調査

筆者は日本語を習っている学生の中でアンケート調査を行いました。筆者はいくつの外来語を言った。学生は筆者が言った外来語を正しく書かなければならなかった。30人の学生に聞いたが、彼らの20人は間違った。なぜかというところそれぞれの学生、つまり、ウズベク人もロシア人も自分の発音と同じように書いた。例えば、ケアテマラとターザンという言葉を書かなければならなかった。しかし、その30人の20人の学生はグワテマラと書いた。ターザンという言葉をだいたい25人はタルザンと書いた。ケアテマラという言葉はロシア語でもウズベク語でも Гватемала と書く。それから筆者は外来語の表記を一生けんめいに勉強を始めました。

結論

最後にこれまで述べたことのまとめをしよう。すでに話したとおりに最ウズベク語でも日本語でも使っている外来語である。最近では小学校の学生も外来語をよく使う。それは良い事ですか。なぜ私たちの子供は自分の言語を使わないで外国の外来語を使っているのか。日本人も同じである。日本語もウズベク語も昔から使っているげんごである。ですからどうして日本人もウズベク人も外来語を使っているのだろうか。この研究は将来に筆者だけではなく言語と関係がある人々にも将来に役に立つと思う。最近ウズベク語の外来語も多くなってきた。しかし、私たちは外来語を使かわないと自分の意見を言えませんか。日本人も英語があまり上手ではないが、しかし、外来語を使うのがウズベク人と同じで上手だ。申し私達はこれとおりに外来語を使うと自分の母国語を忘れていくはずもある。この研究では筆者は外来語の表記と源吾音に近付く外来語の表記をあきらかにすることができたと思う。しかし、大学の学習者の中に行ったアンケートの調査では70%の学習者は外来語は日本語にもウズベク語にも良い影響を与えると答えました。しかし、筆者はその学生に意見とはんたい。だから、卒業論文では外来語の影響についてまた詳しく研究したいと思う。この学年研究のおかげでは筆者も外来語の表記を正しく使うようになりました。

参考文献

1. 「言語と社会」モスクワ * アルバとワ * 1988年
2. O'zbek tili ona tilim(ウズベク語は私の母国語)2005年 (H. Baltabaev。)
3. 山崎日本語になった外来語
4. 「外来語の辞典」東京 黒潮 * あらかわそべい * 1996年
5. 日本語音声学のしくみ

注

www.google.co.uz/blog110.uz.html

O'zbek tilidagi begona so'zlar (ウズベク語の外来語) www.myp.uz

<http://romanization.blog128.fc2.com/blog-entry-4.html>